キッコーマン総合病院は創立100周年を迎えました

歴代院長

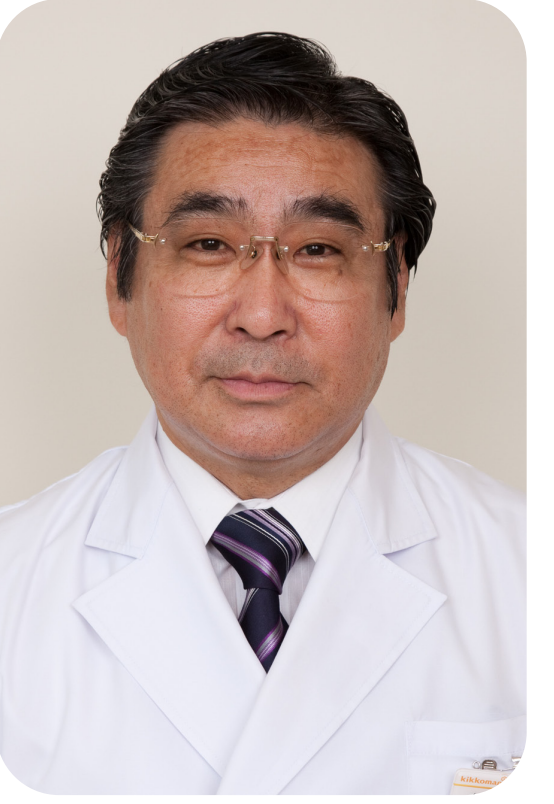
荒木 英一 先生

辻　寿一 先生

松岡 健司 先生

遠藤 正俊 先生

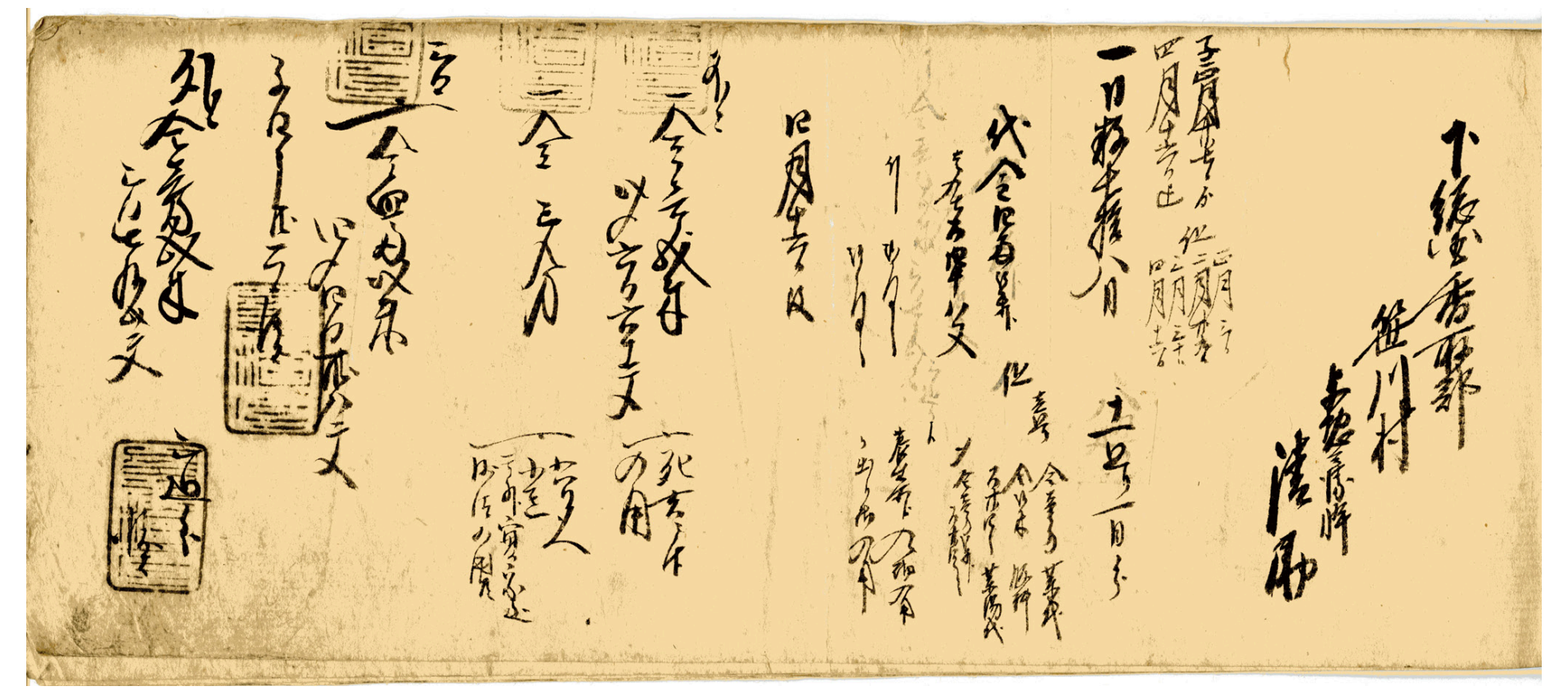
福永 和雄 先生

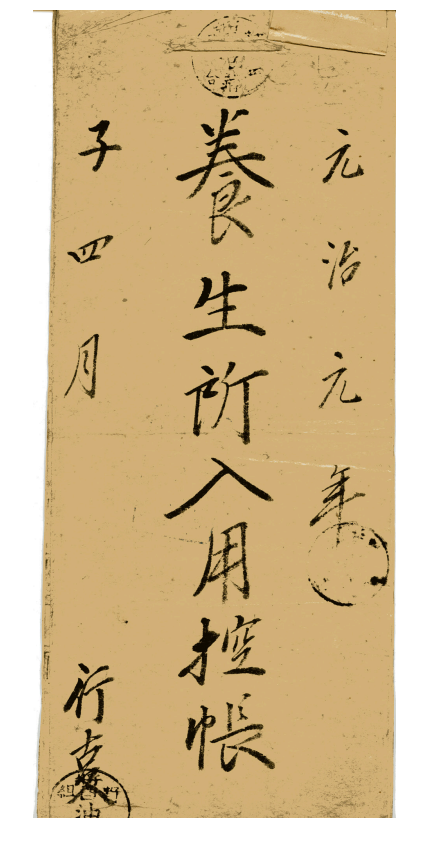

久保田 芳郎 先生

初　代	1914(大正3年).1.10 ～ 1915(大正4年).11.30	山下 兵次郎 先生
第2代目	1915(大正4年).12.1 ～1929(昭和4年).3.31	門倉 梅三郎 先生
第3代目	1929(昭和4年).4.1 ～1936(昭和11年).9.20	上條 秀介 先生
第4代目	1936(昭和11年).9.21 ～1940(昭和15年).12.31	小田倉 一 先生
第5代目	1941(昭和16年).1.1 ～1947(昭和22年).8.31	渡辺　敏 先生
第6代目	1947(昭和22年).9.1 ～1959(昭和34年).12.16	荒木 英一 先生
第7代目	1959(昭和34年).12.17 ～1966(昭和41年).12.31	遠藤 正俊 先生
第8代目	1967(昭和42年).1.1 ～1981(昭和56年).3.31	辻　寿一 先生
第9代目	1981(昭和56年).4.1 ～1990(平成2年).1.31	福永 和雄 先生
第10代目	1990(平成2年).2.1 ～1996(平成8年).3.31	松岡 健司 先生
第11代目	1996(平成8年).4.1 ～	久保田 芳郎 先生

※入手可能であった歴代院長の写真を掲載しております。

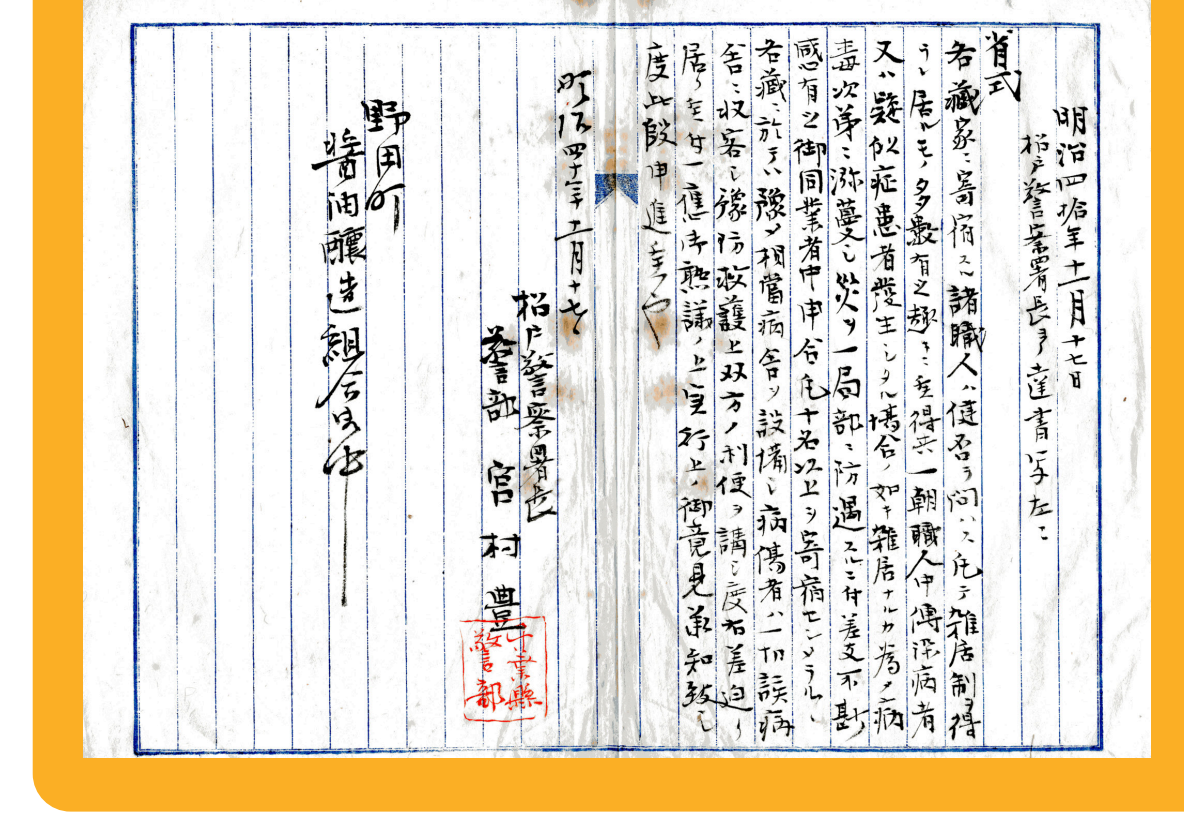
養生所時代～病院創設期




元治元年
養生所入用控帳
子四月

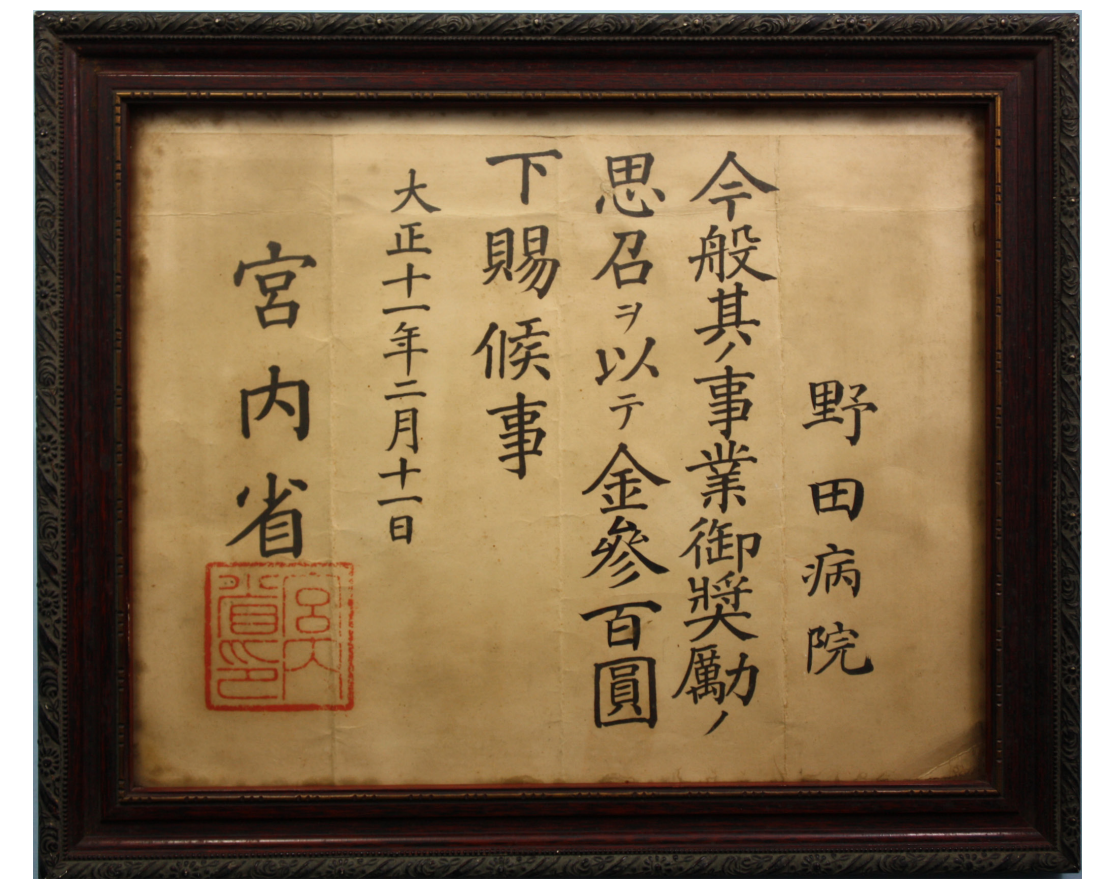
谷向にあった養生所入用控帳1864年(元治元年)
文久2年(1862年)、しょうゆ醸造家の一家が、蔵で働く蔵人達や家族のために養生所を設けたのが当院の起源と言われています。

病院創設のきっかけとなった松戸警察署の勧奨状写し



【勧奨状要訳】
明治四十年十一月十七日、
松戸警察署長から野田醤油醸造
組合にむけて
伝染病の感染に対する衛生上の
観点から職人の雑居状況を改善
してほしい
病舎を設置して、病人はそこに
収容し感染の拡大を防いで
ほしい
ついては醤油醸造組合で協議
してほしい
という内容が書かれています。

野田病院開院当時1914年(大正3年)
大正天皇の即位記念事業として野田醤油醸造組合が野田町上花輪に「野田病院」を開院したのが、現在の病院の始まりです。


野田病院
今般其ノ事業御奨励ノ
思召ヲ以テ金参百圓
下賜候事
大正十一年二月十一日
宮内省

御下賜状1922年(大正11年)2月11日
宮内省(現、宮内庁)より御下賜金300円を
(現在の価値で約100万円)下賜されました

昭和30年前後の病院

野田病院病室1952年頃(昭和27年頃)野田市上花輪532番地

病室と離れた場所(琴平通り)の診療所
1952年頃(昭和27年頃)野田市野田289番地

第1～3期看護婦たち
1957年(昭和32年)

野田病院の外階段にて
1957年(昭和32年)

野田病院中庭での様子
1959年(昭和34年)

野田病院からキッコーマン総合病院へ

野田病院(当時の名称)は1914年(大正3年)に開院。
1917年(大正6年)に野田醤油醸造組合がキッコーマンの前身となる野田醤油株式会社として発足するのに伴い、1918年(大正7年)には当社企業立病院となり、1966年(昭和41年)2月「キッコーマン附属病院」への改称を経て、1973年(昭和48年)1月より、産婦人科の開始により現在の名称である「キッコーマン総合病院」となりました。

野田病院診療所
野田病院(病室)

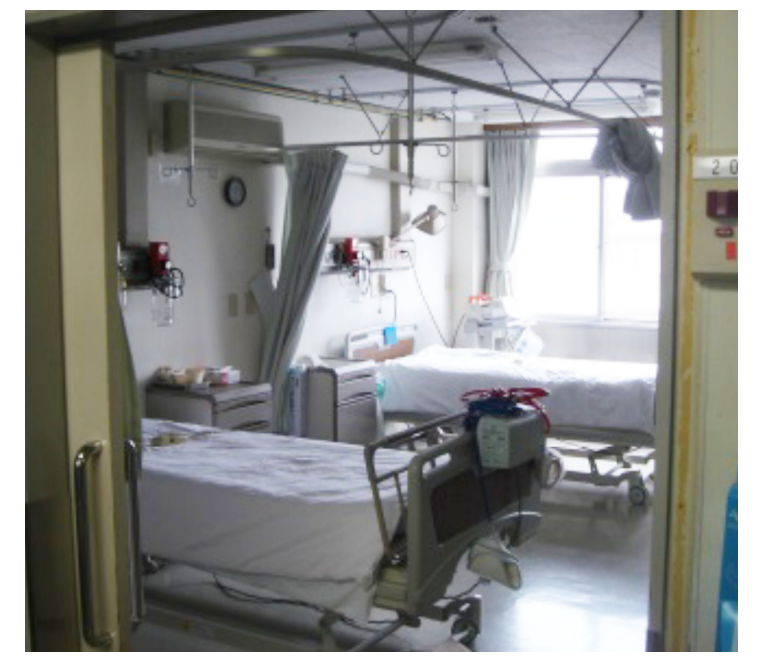
野田病院診療所掲示板の前で
1960年頃(昭和35年頃)

野田病院工事着々と進む

新築工事中の旧病院(社内報より)
1965年(昭和40年)

宮崎100番地に移転新築
1966年(昭和41年)

旧病院外来


旧病院病室

旧病院病棟廊下

キッコーマン総合病院

旧病院外来棟

取り壊し中の旧病院
2012年(平成24年)9月

新病院建設工事開始から完成まで

2011年(平成23年)4月

新病院建設中
2011年(平成23年)8月6日

2011年(平成23年)10月11日

当院の免震構造

新病院竣工式
2012年(平成24年)6月1日

旧病院と新病院
2012年(平成24年)8月5日

西側からの新病院

新病院全景2013年(平成25年)

東側からの新病院

これからも こころをこめた医療サービスで、
地域のみなさまを幸せと笑顔で満たします。